

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年8月17日(2006.8.17)

【公表番号】特表2006-511486(P2006-511486A)

【公表日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【年通号数】公開・登録公報2006-014

【出願番号】特願2004-544591(P2004-544591)

【国際特許分類】

C 07 D 215/42	(2006.01)
C 07 D 409/06	(2006.01)
A 61 K 31/4709	(2006.01)
C 07 D 215/44	(2006.01)
A 61 K 31/4706	(2006.01)
C 07 D 401/06	(2006.01)
C 07 D 413/06	(2006.01)
A 61 K 31/497	(2006.01)
C 07 D 471/04	(2006.01)
C 07 D 417/06	(2006.01)
C 07 D 405/06	(2006.01)
A 61 K 31/498	(2006.01)
A 61 P 43/00	(2006.01)
A 61 P 29/00	(2006.01)
A 61 P 19/02	(2006.01)
A 61 P 9/10	(2006.01)
A 61 P 1/04	(2006.01)
A 61 P 17/06	(2006.01)
A 61 P 17/00	(2006.01)
A 61 P 17/04	(2006.01)
A 61 P 17/02	(2006.01)
A 61 P 37/02	(2006.01)
A 61 P 11/00	(2006.01)
A 61 P 9/00	(2006.01)
A 61 P 37/06	(2006.01)
A 61 P 37/08	(2006.01)
A 61 P 11/06	(2006.01)
A 61 P 11/02	(2006.01)

【F I】

C 07 D 215/42	C S P
C 07 D 409/06	
A 61 K 31/4709	
C 07 D 215/44	
A 61 K 31/4706	
C 07 D 401/06	
C 07 D 413/06	
A 61 K 31/497	
C 07 D 471/04	1 0 6 C
C 07 D 417/06	
C 07 D 405/06	
A 61 K 31/498	

A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	17/04	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	11/02	

【手続補正書】**【提出日】**平成18年6月28日(2006.6.28)**【手続補正1】****【補正対象書類名】**特許請求の範囲**【補正対象項目名】**全文**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【特許請求の範囲】****【請求項1】**

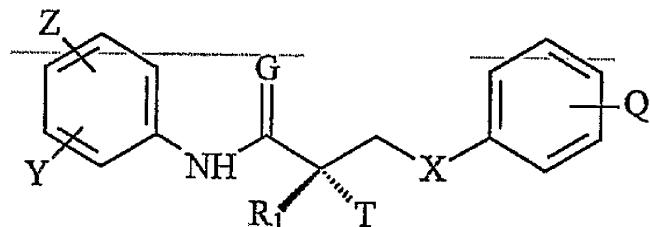
高齢男性のアンドロゲン減少に関連する病気(ADAM)を治療する薬剤を製造するための、選択的アンドロゲン受容体調節剤(SARM)化合物の使用。

【請求項2】

前記薬剤が、前記SARM化合物の類似体、誘導体、異性体、代謝産物、薬学的に許容される塩、医薬品、水和物又はN酸化物、プロドラッグ、多形体、結晶、又はそれらの任意の組み合わせを含むことを特徴とする請求項1に記載の使用。

【請求項3】

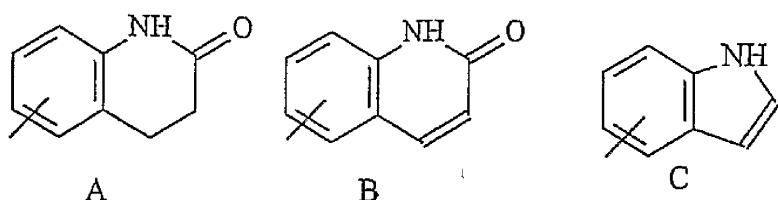
前記SARM化合物が、次の化学構造式Iで表されることを特徴とする請求項1に記載の使用。

【化1】

ただし、Gは、O、又はSであり、

Xは、結合部、O、CH₂、NH、Se、PR、NO、又はNRであり、
Tは、OH、OR、NHCOC₂H₅、又はNHCORであり、
Zは、NO₂、CN、COOH、COR、NHCOR、又はCONHRであり、
Yは、CF₃、I、Br、Cl、CN、CR₃、又是SnR₃であり、
Qは、アルキル、F、Cl、Br、I、CF₃、CN、CR₃、SnR₃、NR₂、
NHCOC₂H₅、NHCOCF₃、NHCOR、NHCONHR、NHCOOR、OCON
HR、CONHR、NHCSC₂H₅、NHCSCF₃、NHC₂R、NHSO₂CH₃、
NHSO₂R、OR、COR、OCOR、OSO₂R、SO₂R、SR、NCS、SCN
、NCO、又是OCNである。或いは、Qは、ベンゼン環と結合して構造式A、B、又は
Cで表される縮合環系を形成するものである。

【化8】



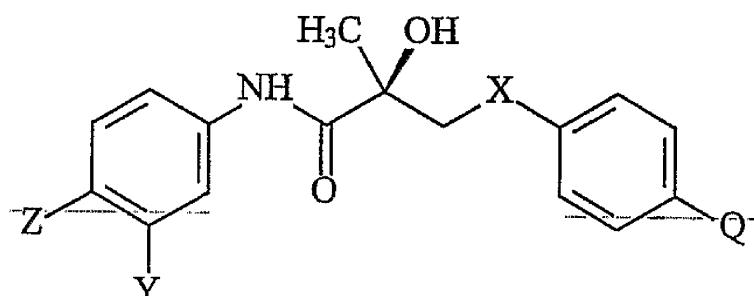
Rは、アルキル、ハロアルキル、ジハロアルキル、トリハロアルキル、CH₂F、CH
F₂、CF₃、CF₂CF₃、アリル、フェニル、F、Cl、Br、I、アルケニル、又
はOHであり、

R₁は、CH₃、CH₂F、CHF₂、CF₃、CH₂CH₃、又はCF₂CF₃である。

【請求項4】

前記SARM化合物が、次の化学構造式IIで表されることを特徴とする請求項1に記載の使用。

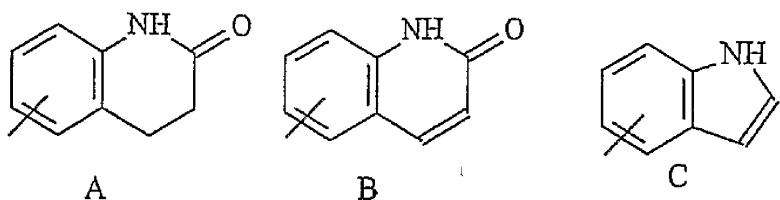
【化2】



II

ただし、Xは、結合部、O、CH₂、NH、Se、PR、NO、又はNRであり、
Zは、NO₂、CN、COOH、COR、NHCOR、又はCONHRであり、
Yは、CF₃、I、Br、Cl、CN、CR₃、又是SnR₃であり、
Qは、アルキル、F、Cl、Br、I、CF₃、CN、CR₃、SnR₃、NR₂、
NHCOC₂H₅、NHCOCF₃、NHCOR、NHCONHR、NHCOOR、OCON
HR、CONHR、NHCSC₂H₅、NHCSCF₃、NHC₂R、NHSO₂CH₃、
NHSO₂R、OR、COR、OCOR、OSO₂R、SO₂R、SR、NCS、SCN
、NCO、OCNである。或いは、Qは、ベンゼン環と結合して構造式A、B、又はCで
表される縮合環系を形成するものである。

【化8】

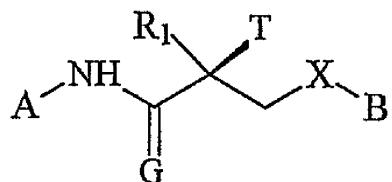


Rは、アルキル、ハロアルキル、ジハロアルキル、トリハロアルキル、CH₂F、CHF₂、CF₃、CF₂CF₃、アリル、フェニル、F、Cl、Br、I、アルケニル、又はOHである。

【請求項5】

前記SARM化合物が、次の化学構造式IIIで表されることを特徴とする請求項1に記載の使用。

【化3】



III

ただし、Xは、結合部、O、CH₂、NH、Se、PR、NO、又はNRであり、Gは、O、又はSであり、

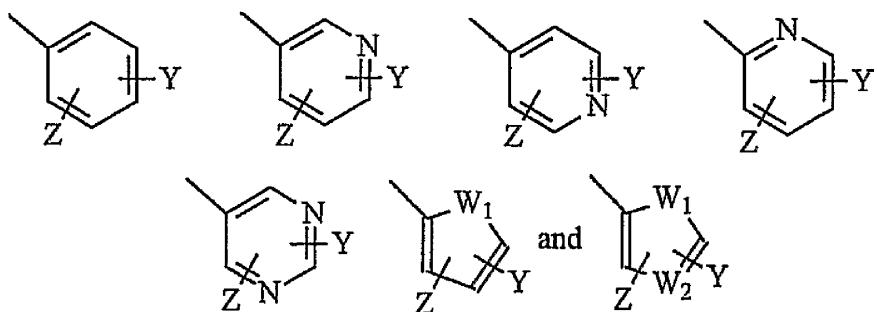
R₁は、CH₃、CH₂F、CHF₂、CF₃、CH₂CH₃、又はCF₂CF₃であり、

Tは、OH、OR、NHCOCH₃、又はNHCORであり、

Rは、アルキル、ハロアルキル、ジハロアルキル、トリハロアルキル、CH₂F、CHF₂、CF₃、CF₂CF₃、アリル、フェニル、F、Cl、Br、I、アルケニル、又はOHであり、

Aは、

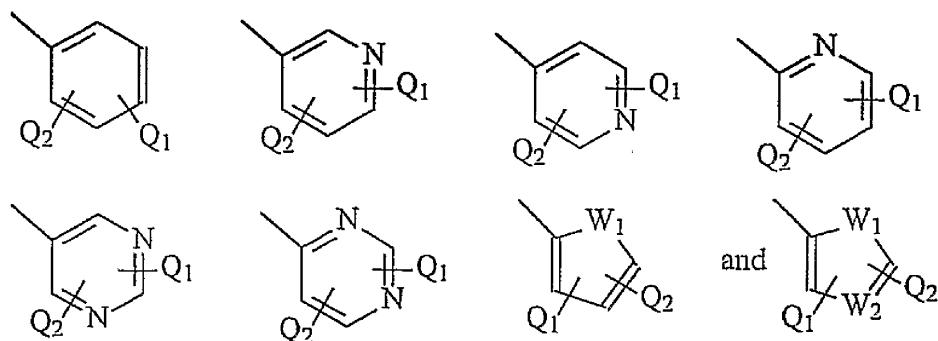
【化9】



から選択される環であり、

Bは、

【化10】



から選択される環であり、

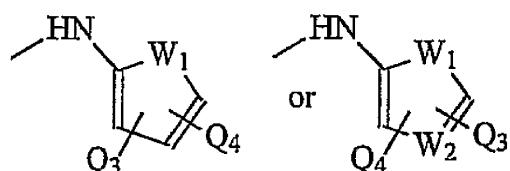
A 及び B は同時にベンゼン環であり得ず、

Z は、NO₂、CN、COOH、COR、NHCOR、又はCONHRであり、

Y は、CF₃、F、I、Br、Cl、CN、CR₃、又はSnR₃であり、

Q₁ 及び Q₂ は、互いに独立して、水素、アルキル、F、Cl、Br、I、CF₃、CN、CR₃、SnR₃、NR₂、NHCOCH₃、NHCOCF₃、NHCOR、NHCOnHR、NHCOOR、OCONHR、CONHR、NHCSCH₃、NHCSCHF₃、NHCSR、NH₂SO₂CH₃、NH₂SO₂R、OR、COR、OCOR、OSO₂R、SO₂R、SR、NCS、SCN、NCO、OCN、又は

【化11】



であり、

Q₃ 及び Q₄ は、互いに独立して、水素、アルキル、F、Cl、Br、I、CF₃、CN、CR₃、SnR₃、NR₂、NHCOCH₃、NHCOCF₃、NHCOR、NHCOnHR、NHCOOR、OCONHR、CONHR、NHCSCH₃、NHCSCHF₃、NHCSR、NH₂SO₂CH₃、NH₂SO₂R、OR、COR、OCOR、OSO₂R、SO₂R、SR、NCS、SCN、NCO、又はOCNであり、

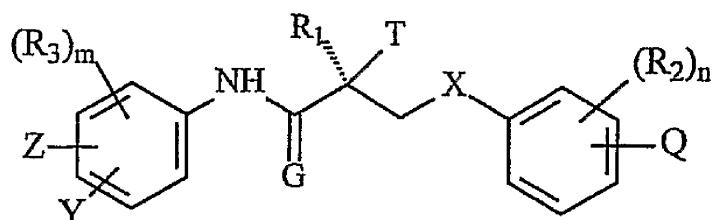
W₁ は、O、NH、NR、NO、又はSであり、

W₂ は、N、又はNOである。

【請求項6】

前記SARM化合物が、次の化学構造式IVで表されることを特徴とする請求項1に記載の使用。

【化4】



IV

ただし、X は、結合部、O、CH₂、NH、Se、PR、NO、又はNRであり、

G は、 O 、又は S であり、

Tは、OH、OR、NHCOCH₃、又はNHCORであり、

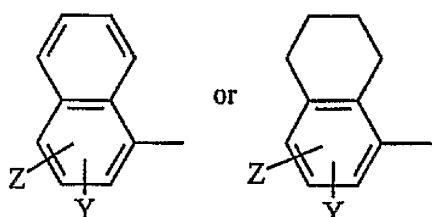
Rは、アルキル、ハロアルキル、ジハロアルキル、トリハロアルキル、CH₂F、CHF₂、CF₃、CF₂CF₃、アリル、フェニル、F、Cl、Br、I、アルケニル、又はOHであり、

R_1 は、 CH_3 、 CH_2F 、 CHF_2 、 CF_3 、 CH_2CH_3 、又は CF_2CF_3 であり、

R_2 は、F、Cl、Br、I、CH₃、CF₃、OH、CN、NO₂、NHCOCH₃、NHCOCF₃、NHCOR、アルキル、アリルアルキル、OR、NH₂、NHR、NR₂、又はSRであり、

R_3 は、F、Cl、Br、I、CN、NO₂、COR、COOH、CONHR、CF₃、又はSnR₃である。或いは、 R_3 は、ベンゼン環と結合して次の構造式で表される縮合環系を形成するものである。

【化 1 2】

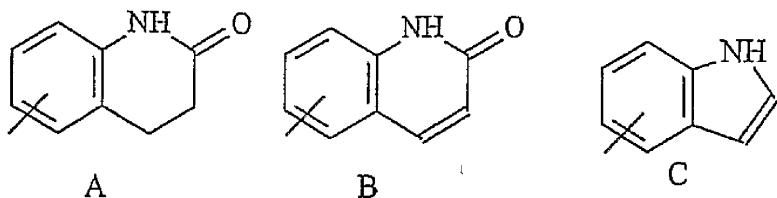


Zは、NO₂、CN、COR、COOH、又はCONHRであり、

Yは、 CF_3 、 F 、 Br 、 Cl 、 I 、 CN 、又は SnR_3 であり、

Qは、H、アルキル、F、Cl、Br、I、CF₃、CN、CR₃、SnR₃、NR₂、NHCOCH₃、NHCOCF₃、NHCOR、NHCONHR、NHCOOR、OC(ONHR)、CONHR、NHCSCH₃、NHCS(=O)F₃、NHCSR、NHSO₂CH₃、NHSO₂R、OH、OR、COR、OCOR、OSO₂R、SO₂R、SR、NC、S、SCN、NCO、又はOCNである。或いは、Qは、ベンゼン環と結合して構造式A、B、又はCで表される縮合環系を形成するものである。

【化 8】



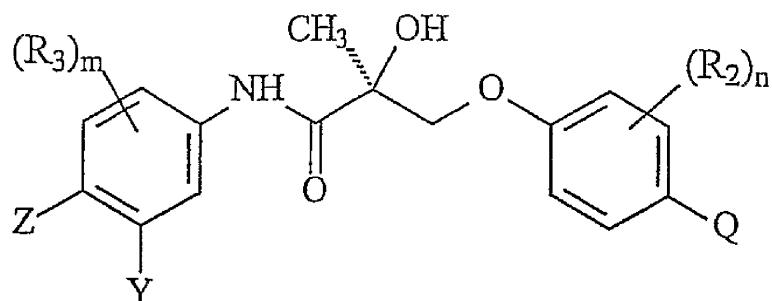
n は、1 ~ 4 の整数であり、

m は、1 ~ 3 の整数である。

【請求項 7】

前記 S A R M 化合物が、次の化学構造式 V で表されることを特徴とする請求項 1 に記載の使用。

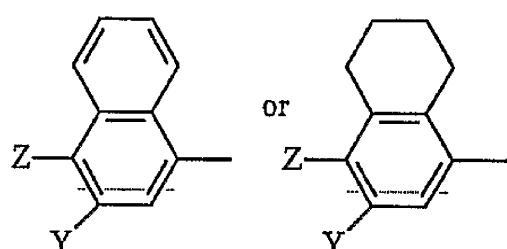
【化5】



ただし、 R_2 は、F、Cl、Br、I、CH₃、CF₃、OH、CN、NO₂、NHCOC₂H₅、NHCOCF₃、NHCOR、アルキル、アリルアルキル、OR、NH₂、NRH、NR₂、又はSRであり、

R_3 は、F、Cl、Br、I、CN、NO₂、COR、COOH、CONHR、CF₃、又はSnR₃である。或いは、 R_3 は、ベンゼン環と結合して次の構造式で表される縮合環系を形成するものである。

【化13】



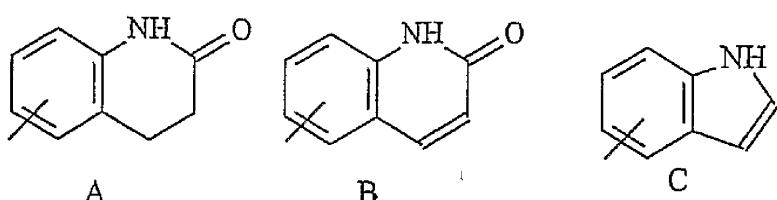
R は、アルキル、ハロアルキル、ジハロアルキル、トリハロアルキル、CH₂F、CHF₂、CF₃、CF₂CF₃、アリル、フェニル、F、Cl、Br、I、アルケニル、又はOHであり、

Z は、NO₂、CN、COR、COOH、又はCONHRであり、

Y は、CF₃、F、Br、Cl、I、CN、又はSnR₃であり、

Q は、H、アルキル、F、Cl、Br、I、CF₃、CN、CR₃、SnR₃、NR₂、NHCOC₂H₅、NHCOCF₃、NHCOR、NHCONHR、NHCOOR、OCONHR、CONHR、NHCSCH₃、NHCS₂CF₃、NHCSR、NHSO₂CH₃、NHSO₂R、OH、OR、COR、OCOR、OSO₂R、SO₂R、SR、NC、SCN、NCO、又はOCNである。或いは、Q は、ベンゼン環と結合して構造式A、B、又はCで表される縮合環系を形成するものである。

【化8】



n は、1～4 の整数であり、

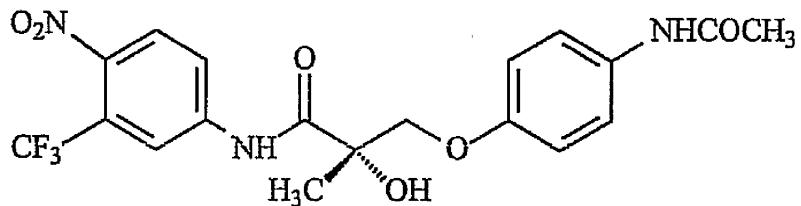
m は、1～3 の整数である。

【請求項8】

前記SARM化合物が、次の化学構造式VIで表されることを特徴とする請求項1に記

載の使用。

【化6】

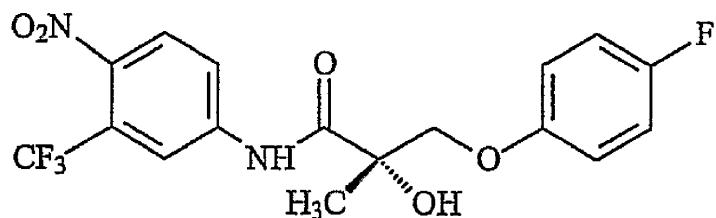


VI

【請求項9】

前記SARM化合物が、次の化学構造式VIIで表されることを特徴とする請求項1に記載の使用。

【化7】



VII

【請求項10】

前記SARMが、アンドロゲン受容体アゴニストであることを特徴とする請求項1に記載の使用。

【請求項11】

前記SARMが、アンドロゲン受容体アンタゴニストであることを特徴とする請求項1に記載の使用。

【請求項12】

前記SARMが、筋肉又は骨にアゴニストの効果を及ぼすことを特徴とする請求項1に記載の使用。

【請求項13】

前記SARMが、前立腺に効果を及ぼさない、又はアンタゴニストの効果を及ぼすことを特徴とする請求項12に記載の使用。

【請求項14】

前記SARMが、筋肉又は骨に効果を及ぼさないことを特徴とする請求項1に記載の使用。

【請求項15】

前記SARMが、前立腺に効果を及ぼさない、又はアンタゴニストの効果を及ぼすことを特徴とする請求項14に記載の使用。

【請求項16】

前記SARMが、前立腺に効果を及ぼさない、又はアンタゴニストの効果を及ぼすことを特徴とする請求項1に記載の使用。

【請求項 17】

前記 SARM が、中枢神経系に浸透することを特徴とする請求項 1 に記載の使用。

【請求項 18】

前記 SARM が、中枢神経系に浸透しないことを特徴とする請求項 1 に記載の使用。

【請求項 19】

前記薬剤が、前記 SARM、及び / 又はその類似体、誘導体、異性体、代謝産物、薬学的に許容される塩、医薬品、水和物、N酸化物、プロドラッグ、多形体、結晶或いはそれらの任意の組み合わせと、薬学的に許容される担体とを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の使用。

【請求項 20】

前記薬剤が、

静脈内注射、動脈内注射、又は筋肉内注射可能な液体か、

皮下埋め込み可能なペレットか、

経口投与可能な液体又は固体か、又は、

皮膚の表面に塗布可能な液体又は固体であることを特徴とする請求項 19 に記載の使用。

【請求項 21】

前記薬剤が、ペレット、錠剤、カプセル、溶液、懸濁液、乳濁液、エリキシル、ゲル、クリーム、坐薬、又は非経口的製剤であることを特徴とする請求項 19 に記載の使用。

【請求項 22】

前記 ADAM 関連症状が、性的不全、性欲減退、勃起不全、性腺機能低下症、筋肉減少症、骨減少症、骨粗鬆症、認知・気分の変化、うつ病、貧血、脱毛症、肥満症、良性前立腺肥大症、前立腺癌、又はそれらの任意の組み合わせであることを特徴とする請求項 1 に記載の使用。

【請求項 23】

高齢男性のアンドロゲン減少に関連する病気 (ADAM) を治療する方法であって、

ヒト以外の患者に選択的アンドロゲン受容体調節剤 (SARM) 化合物を投与する過程を含むことを特徴とする方法。

【請求項 24】

高齢男性のアンドロゲン減少に関連する病気 (ADAM) の治療、予防、抑制、阻害、又はその発生率の低減のための薬剤を製造するための、選択的アンドロゲン受容体調節剤 (SARM) 化合物の使用。

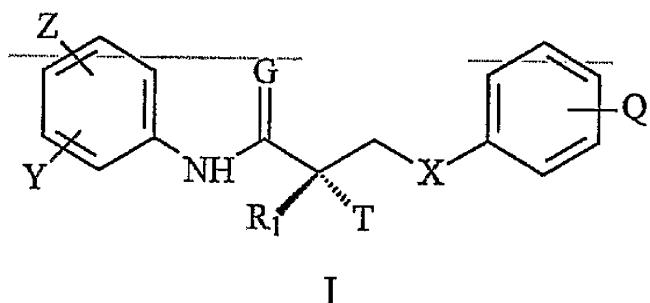
【請求項 25】

前記薬剤が、前記 SARM 化合物の類似体、誘導体、異性体、代謝産物、薬学的に許容される塩、医薬品、水和物又は N酸化物、プロドラッグ、多形体、結晶、又はそれらの任意の組み合わせを含むことを特徴とする請求項 24 に記載の使用。

【請求項 26】

前記 SARM 化合物が、次の化学構造式 I で表されることを特徴とする請求項 24 に記載の使用。

【化1】



ただし、Gは、O、又はSであり、

Xは、結合部、O、CH₂、NH、Se、PR、NO、又はNRであり、

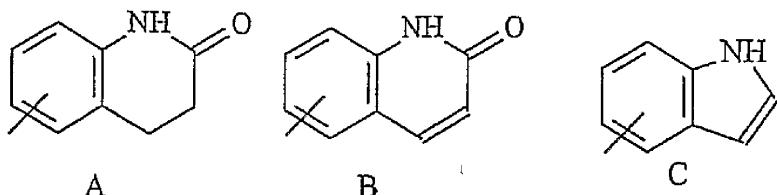
Tは、OH、OR、NHCOC₂H₅、又はNHCORであり、

Zは、NO₂、CN、COOH、COR、NHCOR、又はCONHRであり、

Yは、CF₃、I、Br、Cl、CN、CR₃、又はSnR₃であり、

Qは、アルキル、F、Cl、Br、I、CF₃、CN、CR₃、SnR₃、NR₂、NHCOCH₃、NHCOCF₃、NHCOR、NHCONHR、NHCOOR、OCO NR、CONHR、NHCSCH₃、NHCSCF₃、NHCSR、NHSO₂CH₃、NHSO₂R、OR、COR、OCOR、OSO₂R、SO₂R、SR、NCS、SCN、NCO、又はOCNである。或いは、Qは、ベンゼン環と結合して構造式A、B、又はCで表される縮合環系を形成するものである。

【化8】



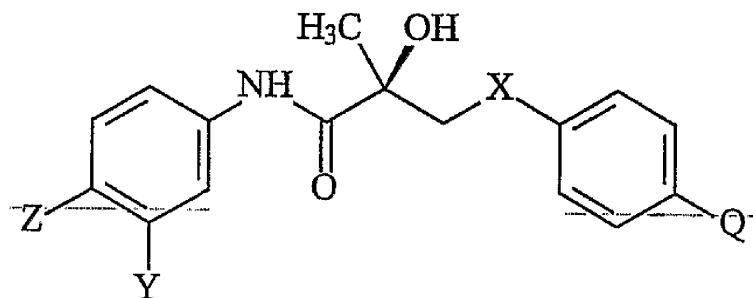
Rは、アルキル、ハロアルキル、ジハロアルキル、トリハロアルキル、CH₂F、CH F₂、CF₃、CF₂CF₃、アリル、フェニル、F、Cl、Br、I、アルケニル、又はOHであり、

R₁は、CH₃、CH₂F、CH₂F₂、CF₃、CH₂CH₃、又はCF₂CF₃である。

【請求項27】

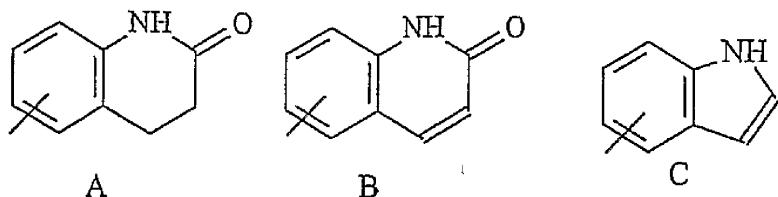
前記SARM化合物が、次の化学構造式IIで表されることを特徴とする請求項24に記載の使用。

【化2】



ただし、Xは、結合部、O、CH₂、NH、Se、PR、NO、又はNRであり、Zは、NO₂、CN、COOH、COR、NHCOR、又はCONHRであり、Yは、CF₃、I、Br、Cl、CN、CR₃、又はSnR₃であり、Qは、アルキル、F、Cl、Br、I、CF₃、CN、CR₃、SnR₃、NR₂、NHCOCH₃、NHCOCF₃、NHCOR、NHCONHR、NHCOOR、OCONHR、CONHR、NHCSCH₃、NHCSCF₃、NHCSR、NHSO₂CH₃、NHSO₂R、OR、COR、OCOR、OSO₂R、SO₂R、SR、NCS、SCN、NCO、OCNである。或いは、Qは、ベンゼン環と結合して構造式A、B、又はCで表される縮合環系を形成するものである。

【化8】

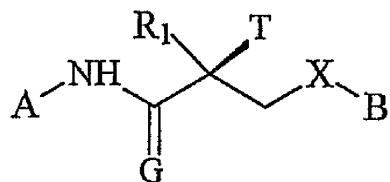


Rは、アルキル、ハロアルキル、ジハロアルキル、トリハロアルキル、CH₂F、CHF₂、CF₃、CF₂CF₃、アリル、フェニル、F、Cl、Br、I、アルケニル、又はOHである。

【請求項28】

前記SARM化合物が、次の化学構造式IIIで表されることを特徴とする請求項24に記載の使用。

【化3】



III

ただし、Xは、結合部、O、CH₂、NH、Se、PR、NO、又はNRであり、Gは、O、又はSであり、

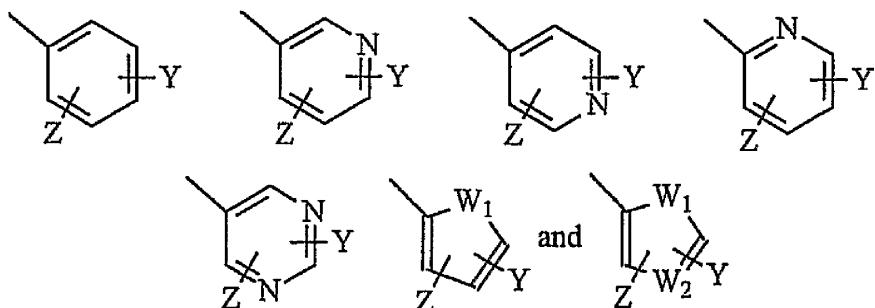
R_1 は、 CH_3 、 CH_2F 、 CHF_2 、 CF_3 、 CH_2CH_3 、又は CF_2CF_3 であり、

T は、 OH 、 OR 、 $NHCOCCH_3$ 、又は $NHCOR$ であり、

R は、アルキル、ハロアルキル、ジハロアルキル、トリハロアルキル、 CH_2F 、 CHF_2 、 CF_3 、 CF_2CF_3 、アリル、フェニル、 F 、 Cl 、 Br 、 I 、アルケニル、又は OH であり、

A は、

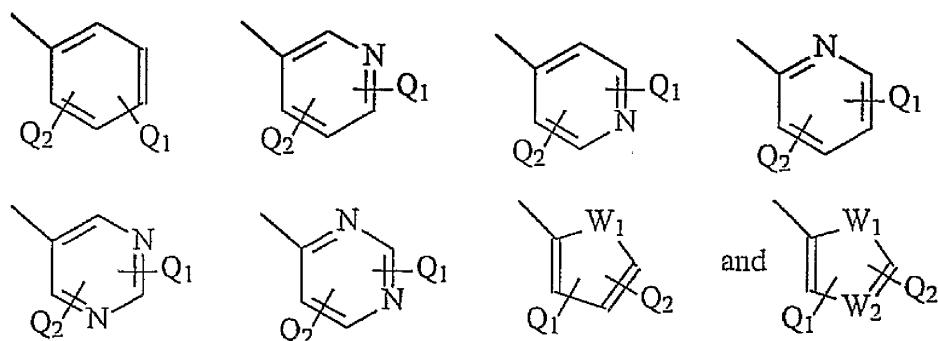
【化9】



から選択される環であり、

B は、

【化10】



から選択される環であり、

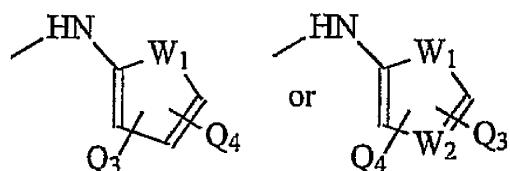
A 及び B は同時にベンゼン環であり得ず、

Z は、 NO_2 、 CN 、 $COOH$ 、 COR 、 $NHCOR$ 、又は $CONHR$ であり、

Y は、 CF_3 、 F 、 I 、 Br 、 Cl 、 CN 、 CR_3 、又は SnR_3 であり、

Q_1 及び Q_2 は、互いに独立して、水素、アルキル、 F 、 Cl 、 Br 、 I 、 CF_3 、 CN 、 CR_3 、 SnR_3 、 NR_2 、 $NHCOCCH_3$ 、 $NHCOCF_3$ 、 $NHCOR$ 、 NHC
 $ONHR$ 、 $NHCOOR$ 、 $OCONHR$ 、 $CONHR$ 、 $NHCSCH_3$ 、 $NHCSCF_3$ 、 $NHCSR$ 、 $NHSO_2CH_3$ 、 $NHSO_2R$ 、 OR 、 COR 、 $OCOR$ 、 OSO_2R 、 SO_2R 、 SR 、 NCS 、 SCN 、 NCO 、 OCN 、又は

【化11】



であり、

Q_3 及び Q_4 は、互いに独立して、水素、アルキル、 F 、 Cl 、 Br 、 I 、 CF_3 、 C

N、C₂H₃、SnR₃、NR₂、NHCOCH₃、NHCOCF₃、NHCOR、NHC
ONHR、NHCOOR、OCONHR、CONHR、NHCSCH₃、NHCS
CF₃、NHCSR、NHSO₂CH₃、NHSO₂R、OR、COR、OCOR、OSO₂
R、SO₂R、SR、NCS、SCN、NCO、又はOCNであり、

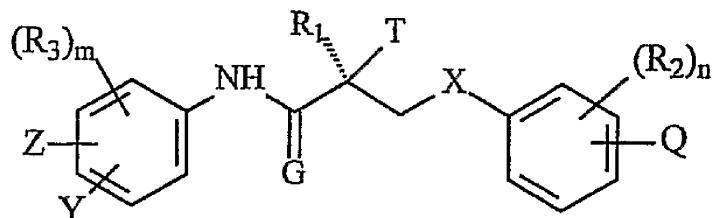
W₁は、O、NH、NR、NO、又はSであり、

W₂は、N、又はNOである。

【請求項29】

前記SARM化合物が、次の化学構造式IVで表されることを特徴とする請求項24に記載の使用。

【化4】



IV

ただし、Xは、結合部、O、CH₂、NH、Se、PR、NO、又はNRであり、
Gは、O、又はSであり、

Tは、OH、OR、NHCOCH₃、又はNHCORであり、

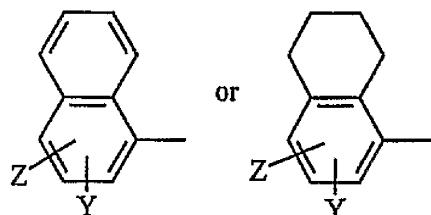
Rは、アルキル、ハロアルキル、ジハロアルキル、トリハロアルキル、CH₂F、CH
F₂、CF₃、CF₂CF₃、アリル、フェニル、F、Cl、Br、I、アルケニル、又
はOHであり、

R₁は、CH₃、CH₂F、CHF₂、CF₃、CH₂CH₃、又はCF₂CF₃であ
り、

R₂は、F、Cl、Br、I、CH₃、CF₃、OH、CN、NO₂、NHCOCH₃
、NHCOCF₃、NHCOR、アルキル、アリルアルキル、OR、NH₂、NHR、N
R₂、又はSRであり、

R₃は、F、Cl、Br、I、CN、NO₂、COR、COOH、CONHR、CF₃
、又はSnR₃である。或いは、R₃は、ベンゼン環と結合して次の構造式で表される縮合環系を形成するものである。

【化12】

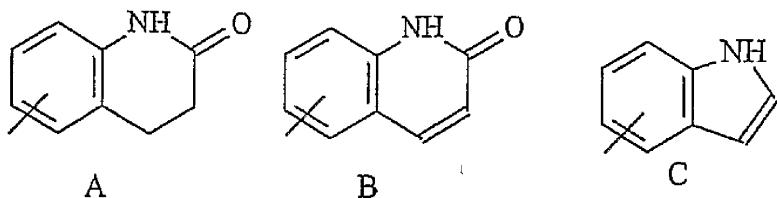


Zは、NO₂、CN、COR、COOH、又はCONHRであり、

Yは、CF₃、F、Br、Cl、I、CN、又はSnR₃であり、

Qは、H、アルキル、F、Cl、Br、I、CF₃、CN、CR₃、SnR₃、NR₂
、NHCOCH₃、NHCOCF₃、NHCOR、NHCONHR、NHCOOR、OC
ONHR、CONHR、NHCSCH₃、NHCS
CF₃、NHCSR、NHSO₂CH₃、NHSO₂R、OH、OR、COR、OCOR、OSO₂R、SO₂R、SR、NC
S、SCN、NCO、又はOCNである。或いは、Qは、ベンゼン環と結合して構造式A
、B、又はCで表される縮合環系を形成するものである。

【化8】

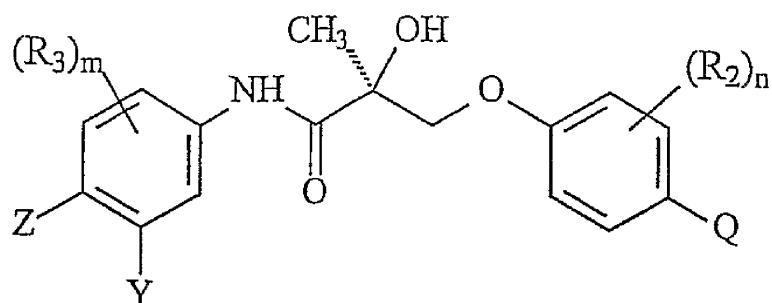


nは、1～4の整数であり、
mは、1～3の整数である。

【請求項30】

前記SARM化合物が、次の化学構造式Vで表されることを特徴とする請求項24に記載の使用。

【化5】

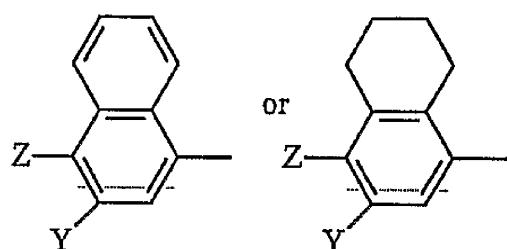


V

ただし、R₂は、F、Cl、Br、I、CH₃、CF₃、OH、CN、NO₂、NHCOC₂H₅、NHCOCF₃、NHCOR、アルキル、アリルアルキル、OR、NH₂、NHR、NR₂、又はSRであり、

R₃は、F、Cl、Br、I、CN、NO₂、COR、COOH、CONHR、CF₃、又はSnR₃である。或いは、R₃は、ベンゼン環と結合して次の構造式で表される縮合環系を形成するものである。

【化13】



Rは、アルキル、ハロアルキル、ジハロアルキル、トリハロアルキル、CH₂F、CHF₂、CF₃、CF₂CF₃、アリル、フェニル、F、Cl、Br、I、アルケニル、又はOHであり、

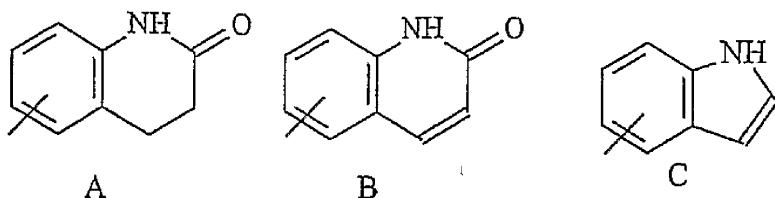
Zは、NO₂、CN、COR、COOH、又はCONHRであり、

Yは、CF₃、F、Br、Cl、I、CN、又はSnR₃であり、

Qは、H、アルキル、F、Cl、Br、I、CF₃、CN、CR₃、SnR₃、NR₂、NHCOC₂H₅、NHCOCF₃、NHCOR、NHCONHR、NHCOOR、OCONHR、CONHR、NHCSCH₃、NHCSCH₃、NHCSRF₃、NHCSR、NHSO₂CH₃、NHSO₂R、OH、OR、COR、OCOR、OSO₂R、SO₂R、SR、NC、SCN、NCO、又はOCNである。或いは、Qは、ベンゼン環と結合して構造式A

、B、又はCで表される縮合環系を形成するものである。

【化8】



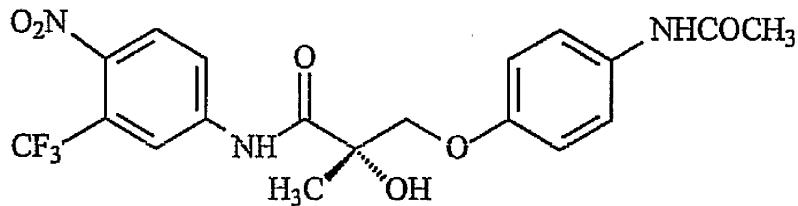
nは、1～4の整数であり、

mは、1～3の整数である。

【請求項31】

前記SARM化合物が、次の化学構造式VIで表されることを特徴とする請求項24に記載の使用。

【化6】

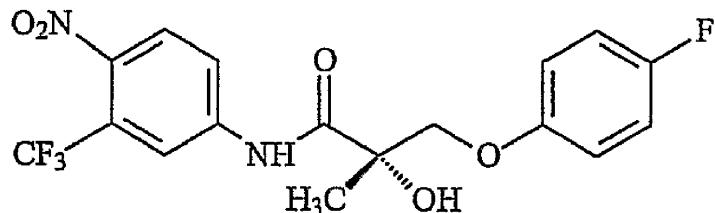


VI

【請求項32】

前記SARM化合物が、次の化学構造式VIIで表されることを特徴とする請求項24に記載の使用。

【化7】



VII

【請求項33】

前記SARMが、アンドロゲン受容体アゴニストであることを特徴とする請求項24に記載の使用。

【請求項34】

前記SARMが、アンドロゲン受容体アンタゴニストであることを特徴とする請求項24に記載の使用。

【請求項35】

前記SARMが、筋肉又は骨にアゴニストの効果を及ぼすことを特徴とする請求項24

に記載の使用。

【請求項 3 6】

前記 S A R M が、前立腺に効果を及ぼさない、又はアンタゴニストの効果を及ぼすことを特徴とする請求項 3 4 に記載の使用。

【請求項 3 7】

前記 S A R M が、筋肉又は骨に効果を及ぼさないことを特徴とする請求項 2 4 に記載の使用。

【請求項 3 8】

前記 S A R M が、前立腺に効果を及ぼさない、又はアンタゴニストの効果を及ぼすことを特徴とする請求項 3 7 に記載の使用。

【請求項 3 9】

前記 S A R M が、前立腺に効果を及ぼさない、又はアンタゴニストの効果を及ぼすことを特徴とする請求項 2 4 に記載の使用。

【請求項 4 0】

前記 S A R M が、中枢神経系に浸透することを特徴とする請求項 2 4 に記載の使用。

【請求項 4 1】

前記 S A R M が、中枢神経系に浸透しないことを特徴とする請求項 2 4 に記載の使用。

【請求項 4 2】

前記薬剤が、前記 S A R M 、及び / 又はその類似体、誘導体、異性体、代謝産物、薬学的に許容される塩、医薬品、水和物、N 酸化物、プロドラッグ、多形体、結晶或いはそれらの任意の組み合わせと、薬学的に許容される担体とを含むことを特徴とする請求項 2 4 に記載の使用。

【請求項 4 3】

前記薬剤が、

静脈内注射、動脈内注射、又は筋肉内注射可能な液体か、

皮下埋め込み可能なペレットか、

経口投与可能な液体又は固体か、又は、

皮膚の表面に塗布可能な液体又は固体であることを特徴とする請求項 4 2 に記載の使用。

【請求項 4 4】

前記薬剤が、ペレット、錠剤、カプセル、溶液、懸濁液、乳濁液、エリキシル、ゲル、クリーム、坐薬、又は非経口的製剤であることを特徴とする請求項 4 2 に記載の使用。

【請求項 4 5】

前記 A D A M 関連症状が、性的不全、性欲減退、勃起不全、性腺機能低下症、筋肉減少症、骨減少症、骨粗鬆症、認知・気分の変化、うつ病、貧血、脱毛症、肥満症、良性前立腺肥大症、前立腺癌、又はそれらの任意の組み合わせであることを特徴とする請求項 2 4 に記載の使用。

【請求項 4 6】

高齢男性のアンドロゲン減少に関連する病気 (A D A M) の治療、予防、抑制、阻害、又はその発生率の低減方法であって、

ヒト以外の患者に選択的アンドロゲン受容体調節剤 (S A R M) 化合物を投与する過程を含むことを特徴とする方法。

【請求項 4 7】

高齢男性のアンドロゲン減少 (A D A M) に起因する性的不全、性欲減退、勃起不全、性腺機能低下症、筋肉減少症、骨減少症、骨粗鬆症、認知・気分の変化、うつ病、貧血、脱毛症、肥満症、良性前立腺肥大症、前立腺癌、又はそれらの任意の組み合わせの治療のための薬剤を製造するための、選択的アンドロゲン受容体調節剤 (S A R M) 化合物の使用。

【請求項 4 8】

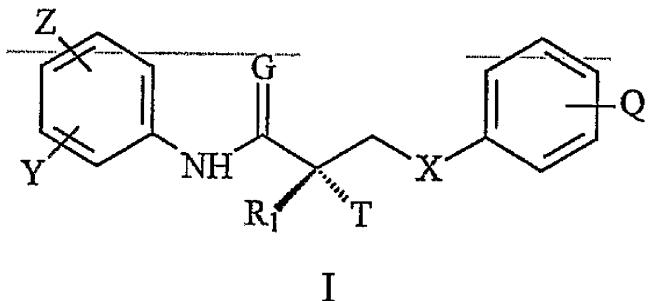
前記薬剤が、前記 S A R M 化合物の類似体、誘導体、異性体、代謝産物、薬学的に許容

される塩、医薬品、水和物又はN酸化物、プロドラッグ、多形体、結晶、又はそれらの任意の組み合わせを含むことを特徴とする請求項47に記載の使用。

【請求項49】

前記SARM化合物が、次の化学構造式Iで表されることを特徴とする請求項47に記載の使用。

【化1】



ただし、Gは、O、又はSであり、

Xは、結合部、O、CH₂、NH、Se、PR、NO、又はNRであり、

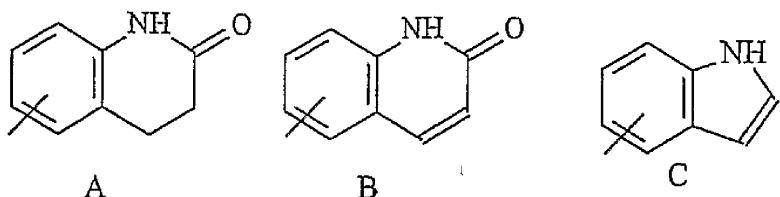
Tは、OH、OR、NHCOC₂H₅、又はNHCORであり、

Zは、NO₂、CN、COOH、COR、NHCOR、又はCONHRであり、

Yは、CF₃、I、Br、Cl、CN、CR₃、又是SnR₃であり、

Qは、アルキル、F、Cl、Br、I、CF₃、CN、CR₃、SnR₃、NR₂、NHCOCH₃、NHCOCF₃、NHCOR、NHCONHR、NHCOOR、OCONHR、CONHR、NHCSCH₃、NHCSCHF₃、NHCSR、NHSO₂CH₃、NHSO₂R、OR、COR、OCOR、OSO₂R、SO₂R、SR、NCS、SCN、NCO、又是OCNである。或いは、Qは、ベンゼン環と結合して構造式A、B、又はCで表される縮合環系を形成するものである。

【化8】



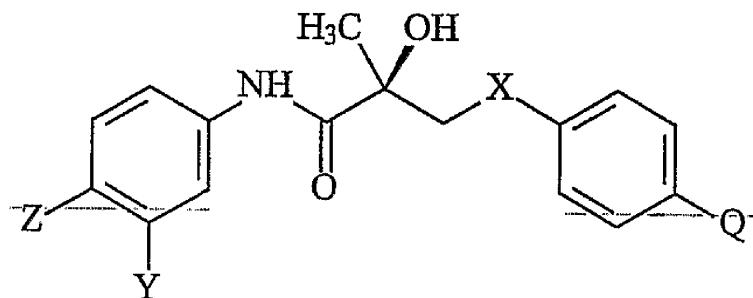
Rは、アルキル、ハロアルキル、ジハロアルキル、トリハロアルキル、CH₂F、CHF₂、CF₃、CF₂CF₃、アリル、フェニル、F、Cl、Br、I、アルケニル、又はOHであり、

R₁は、CH₃、CH₂F、CH₂Cl、CF₃、CH₂CH₃、又はCF₂CF₃である。

【請求項50】

前記SARM化合物が、次の化学構造式IIで表されることを特徴とする請求項47に記載の使用。

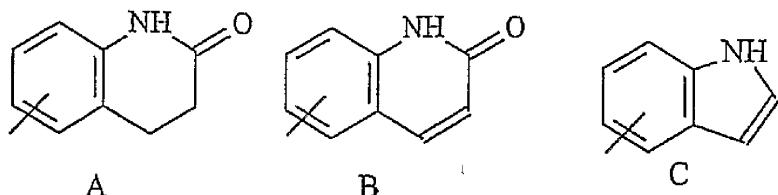
【化2】



II

ただし、Xは、結合部、O、CH₂、NH、Se、PR、NO、又はNRであり、Zは、NO₂、CN、COOH、COR、NHCOR、又はCONHRであり、Yは、CF₃、I、Br、Cl、CN、CR₃、又はSnR₃であり、Qは、アルキル、F、Cl、Br、I、CF₃、CN、CR₃、SnR₃、NR₂、NHCOCH₃、NHCOCF₃、NHCOR、NHCONHR、NHCOOR、OCONHR、CONHR、NHCSCH₃、NHCSCF₃、NHCSR、NHSO₂CH₃、NHSO₂R、OR、COR、OCOR、OSO₂R、SO₂R、SR、NCS、SCN、NCO、OCNである。或いは、Qは、ベンゼン環と結合して構造式A、B、又はCで表される縮合環系を形成するものである。

【化8】

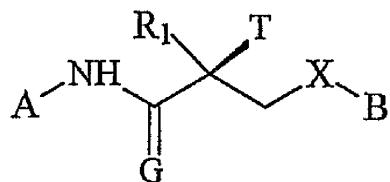


Rは、アルキル、ハロアルキル、ジハロアルキル、トリハロアルキル、CH₂F、CHF₂、CF₃、CF₂CF₃、アリル、フェニル、F、Cl、Br、I、アルケニル、又はOHである。

【請求項51】

前記SARM化合物が、次の化学構造式IIIで表されることを特徴とする請求項47に記載の使用。

【化3】



III

ただし、Xは、結合部、O、CH₂、NH、Se、PR、NO、又はNRであり、Gは、O、又はSであり、

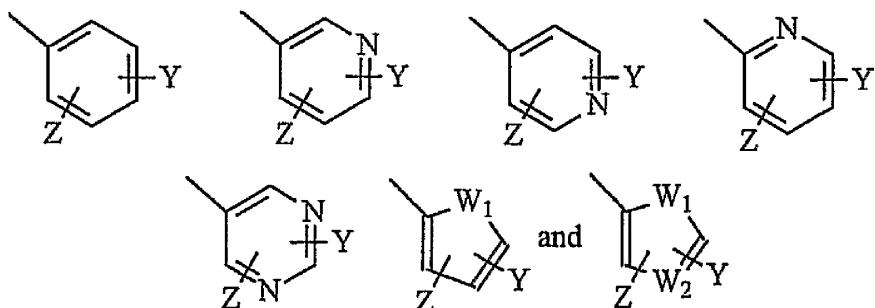
R_1 は、 CH_3 、 CH_2F 、 CHF_2 、 CF_3 、 CH_2CH_3 、又は CF_2CF_3 であり、

T は、 OH 、 OR 、 $NHCOCCH_3$ 、又は $NHCOR$ であり、

R は、アルキル、ハロアルキル、ジハロアルキル、トリハロアルキル、 CH_2F 、 CHF_2 、 CF_3 、 CF_2CF_3 、アリル、フェニル、 F 、 Cl 、 Br 、 I 、アルケニル、又は OH であり、

A は、

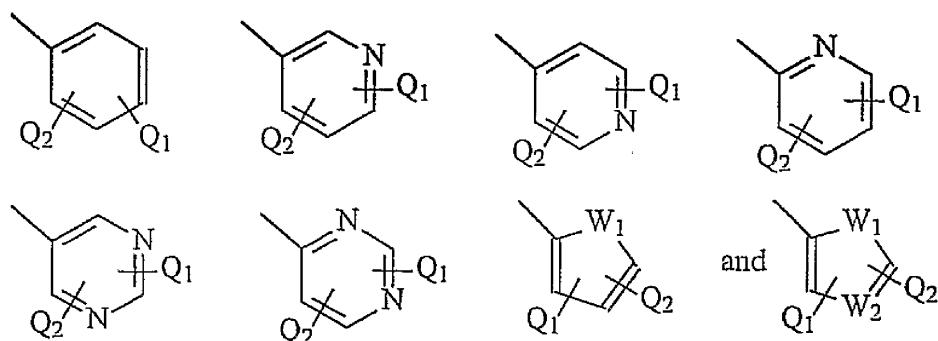
【化9】



から選択される環であり、

B は、

【化10】



から選択される環であり、

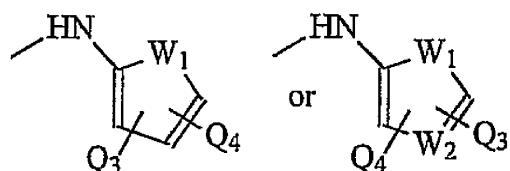
A 及び B は同時にベンゼン環であり得ず、

Z は、 NO_2 、 CN 、 $COOH$ 、 COR 、 $NHCOR$ 、又は $CONHR$ であり、

Y は、 CF_3 、 F 、 I 、 Br 、 Cl 、 CN 、 CR_3 、又は SnR_3 であり、

Q_1 及び Q_2 は、互いに独立して、水素、アルキル、 F 、 Cl 、 Br 、 I 、 CF_3 、 CN 、 CR_3 、 SnR_3 、 NR_2 、 $NHCOCCH_3$ 、 $NHCOCF_3$ 、 $NHCOR$ 、 NHC
 $ONHR$ 、 $NHCOOR$ 、 $OCONHR$ 、 $CONHR$ 、 $NHCSCH_3$ 、 $NHCSCF_3$ 、 $NHCSR$ 、 $NHSO_2CH_3$ 、 $NHSO_2R$ 、 OR 、 COR 、 $OCOR$ 、 OSO_2R 、 SO_2R 、 SR 、 NCS 、 SCN 、 NCO 、 OCN 、又は

【化11】



であり、

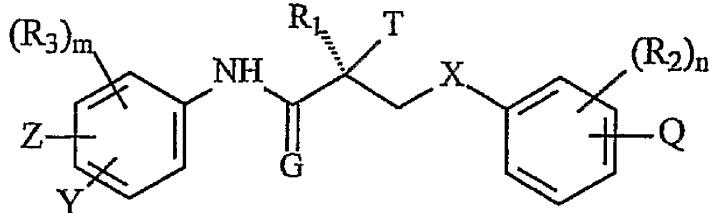
Q_3 及び Q_4 は、互いに独立して、水素、アルキル、 F 、 Cl 、 Br 、 I 、 CF_3 、 C

N、C₂H₃、SnR₃、NR₂、NHCOCH₃、NHCOCF₃、NHCOR、NHC₂ONHR、NHCOOR、OC₂ONHR、CONHR、NHCSCH₃、NHCS₂CF₃、NHCSR、NHSO₂CH₃、NHSO₂R、OR、COR、OCOR、OSO₂R、SO₂R、SR、NCS、SCN、NCO、又はOCNであり、W₁は、O、NH、NR、NO、又はSであり、W₂は、N、又はNOである。

【請求項 5 2】

前記SARM化合物が、次の化学構造式IVで表されることを特徴とする請求項47に記載の使用。

【化4】



IV

ただし、Xは、結合部、O、CH₂、NH、Se、PR、NO、又はNRであり、Gは、O、又はSであり、

Tは、OH、OR、NHCOCH₃、又はNHCORであり、

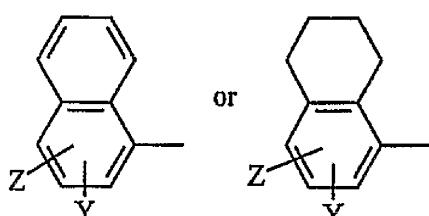
Rは、アルキル、ハロアルキル、ジハロアルキル、トリハロアルキル、CH₂F、CHF₂、CF₃、CF₂CF₃、アリル、フェニル、F、Cl、Br、I、アルケニル、又はOHであり、

R₁は、CH₃、CH₂F、CHF₂、CF₃、CH₂CH₃、又はCF₂CF₃であり、

R₂は、F、Cl、Br、I、CH₃、CF₃、OH、CN、NO₂、NHCOCH₃、NHCOCF₃、NHCOR、アルキル、アリルアルキル、OR、NH₂、NHR、NR₂、又はSRであり、

R₃は、F、Cl、Br、I、CN、NO₂、COR、COOH、CONHR、CF₃、又はSnR₃である。或いは、R₃は、ベンゼン環と結合して次の構造式で表される縮合環系を形成するものである。

【化12】

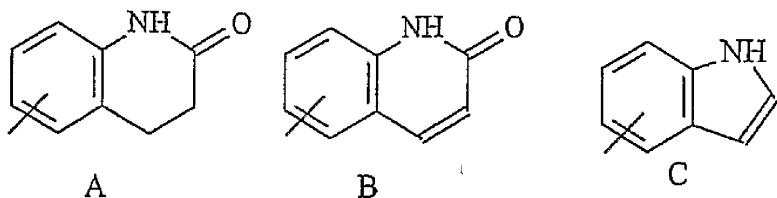


Zは、NO₂、CN、COR、COOH、又はCONHRであり、

Yは、CF₃、F、Br、Cl、I、CN、又はSnR₃であり、

Qは、H、アルキル、F、Cl、Br、I、CF₃、CN、CR₃、SnR₃、NR₂、NHCOCH₃、NHCOCF₃、NHCOR、NHCONHR、NHCOOR、OC₂ONHR、CONHR、NHCSCH₃、NHCS₂CF₃、NHCSR、NHSO₂CH₃、NHSO₂R、OH、OR、COR、OCOR、OSO₂R、SO₂R、SR、NCS、SCN、NCO、又はOCNである。或いは、Qは、ベンゼン環と結合して構造式A、B、又はCで表される縮合環系を形成するものである。

【化8】



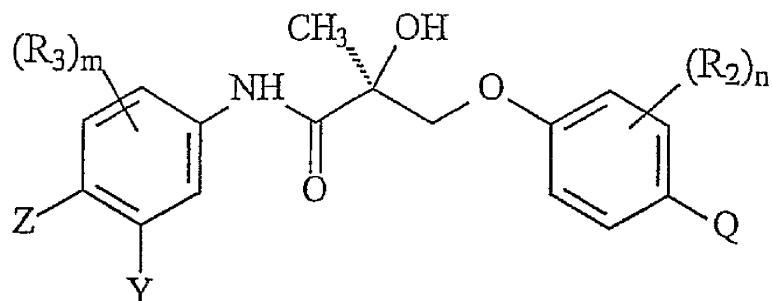
nは、1～4の整数であり、

mは、1～3の整数である。

【請求項53】

前記SARM化合物が、次の化学構造式Vで表されることを特徴とする請求項47に記載の使用。

【化5】

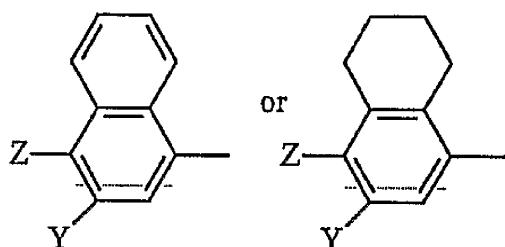


V

ただし、R₂は、F、Cl、Br、I、CH₃、CF₃、OH、CN、NO₂、NHCOC₂H₅、NHCOCF₃、NHCOR、アルキル、アリルアルキル、OR、NH₂、NHR、NR₂、又はSRであり、

R₃は、F、Cl、Br、I、CN、NO₂、COR、COOH、CONHR、CF₃、又はSnR₃である。或いは、R₃は、ベンゼン環と結合して次の構造式で表される縮合環系を形成するものである。

【化13】



Rは、アルキル、ハロアルキル、ジハロアルキル、トリハロアルキル、CH₂F、CHF₂、CF₃、CF₂CF₃、アリル、フェニル、F、Cl、Br、I、アルケニル、又はOHであり、

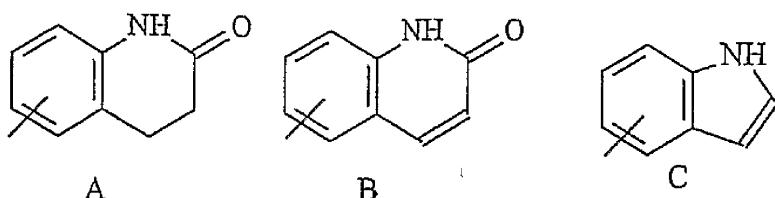
Zは、NO₂、CN、COR、COOH、又はCONHRであり、

Yは、CF₃、F、Br、Cl、I、CN、又はSnR₃であり、

Qは、H、アルキル、F、Cl、Br、I、CF₃、CN、CR₃、SnR₃、NR₂、NHCOC₂H₅、NHCOCF₃、NHCOR、NHCONHR、NHCOOR、OCONHR、CONHR、NHCSCH₃、NHCSCH₃、NHCSRF₃、NHCSR、NHSO₂CH₃、NHSO₂R、OH、OR、COR、OCOR、OSO₂R、SO₂R、SR、NC、SCN、NCO、又はOCNである。或いは、Qは、ベンゼン環と結合して構造式A

、B、又はCで表される縮合環系を形成するものである。

【化8】



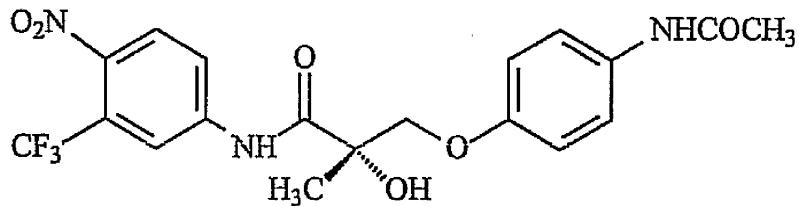
nは、1～4の整数であり、

mは、1～3の整数である。

【請求項54】

前記SARM化合物が、次の化学構造式VIで表されることを特徴とする請求項47に記載の使用。

【化6】

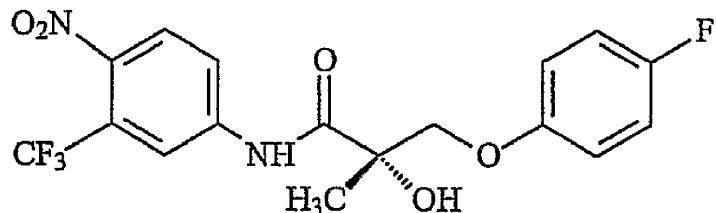


VI

【請求項55】

前記SARM化合物が、次の化学構造式VIIで表されることを特徴とする請求項47に記載の使用。

【化7】



VII

【請求項56】

前記SARMが、アンドロゲン受容体アゴニストであることを特徴とする請求項47に記載の使用。

【請求項57】

前記SARMが、アンドロゲン受容体アンタゴニストであることを特徴とする請求項47に記載の使用。

【請求項58】

前記SARMが、筋肉又は骨にアゴニストの効果を及ぼすことを特徴とする請求項47

に記載の使用。

【請求項 5 9】

前記 S A R M が、前立腺に効果を及ぼさない、又はアンタゴニストの効果を及ぼすことを特徴とする請求項 5 8 に記載の使用。

【請求項 6 0】

前記 S A R M が、筋肉又は骨に効果を及ぼさないことを特徴とする請求項 4 7 に記載の使用。

【請求項 6 1】

前記 S A R M が、前立腺に効果を及ぼさない、又はアンタゴニストの効果を及ぼすことを特徴とする請求項 6 0 に記載の使用。

【請求項 6 2】

前記 S A R M が、前立腺に効果を及ぼさない、又はアンタゴニストの効果を及ぼすことを特徴とする請求項 4 7 に記載の使用。

【請求項 6 3】

前記 S A R M が、中枢神経系に浸透することを特徴とする請求項 4 7 に記載の使用。

【請求項 6 4】

前記 S A R M が、中枢神経系に浸透しないことを特徴とする請求項 4 7 に記載の使用。

【請求項 6 5】

前記薬剤が、前記 S A R M 、及び / 又はその類似体、誘導体、異性体、代謝産物、薬学的に許容される塩、医薬品、水和物、N 酸化物、プロドラッグ、多形体、結晶或いはそれらの任意の組み合わせと、薬学的に許容される担体とを含むことを特徴とする請求項 4 7 に記載の使用。

【請求項 6 6】

前記薬剤が、

静脈内注射、動脈内注射、又は筋肉内注射可能な液体か、

皮下埋め込み可能なペレットか、

経口投与可能な液体又は固体か、又は、

皮膚の表面に塗布可能な液体又は固体であることを特徴とする請求項 6 5 に記載の使用。

【請求項 6 7】

前記薬剤が、ペレット、錠剤、カプセル、溶液、懸濁液、乳濁液、エリキシル、ゲル、クリーム、坐薬、又は非経口的製剤であることを特徴とする請求項 6 5 に記載の使用。

【請求項 6 8】

高齢男性のアンドロゲン減少 (A D A M) に起因する性的不全、性欲減退、勃起不全、性腺機能低下症、筋肉減少症、骨減少症、骨粗鬆症、認知・気分の変化、うつ病、貧血、脱毛症、肥満症、良性前立腺肥大症、前立腺癌、又はそれらの任意の組み合わせの治療方法であって、

ヒト以外の患者に選択的アンドロゲン受容体調節剤 (S A R M) 化合物を投与する過程を含むことを特徴とする使用。

【請求項 6 9】

男性患者の性的不全、性欲減退、勃起不全、性腺機能低下症、筋肉減少症、骨減少症、骨粗鬆症、認知・気分の変化、うつ病、貧血、脱毛症、肥満症、良性前立腺肥大症、及び前立腺癌から選択される高齢男性のアンドロゲン減少 (A D A M) 関連症状の予防、抑制、阻害、又はその発生率の低減のための薬剤を製造するための、選択的アンドロゲン受容体調節剤 (S A R M) 化合物の使用。

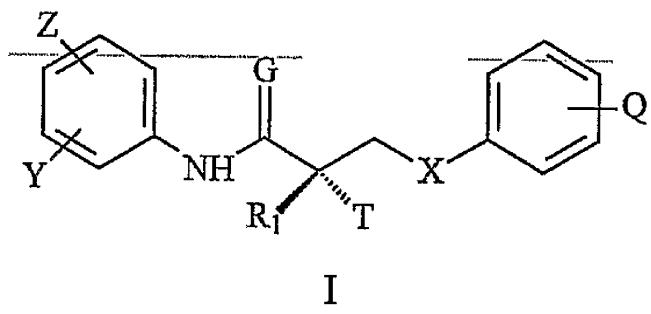
【請求項 7 0】

前記薬剤が、前記 S A R M 化合物の類似体、誘導体、異性体、代謝産物、薬学的に許容される塩、医薬品、水和物又は N 酸化物、プロドラッグ、多形体、結晶、又はそれらの任意の組み合わせを含むことを特徴とする請求項 6 9 に記載の使用。

【請求項 7 1】

前記SARM化合物が、次の化学構造式Iで表されることを特徴とする請求項69に記載の使用。

【化1】



ただし、Gは、O、又はSであり、

Xは、結合部、O、CH₂、NH、Se、PR、NO、又はNRであり、

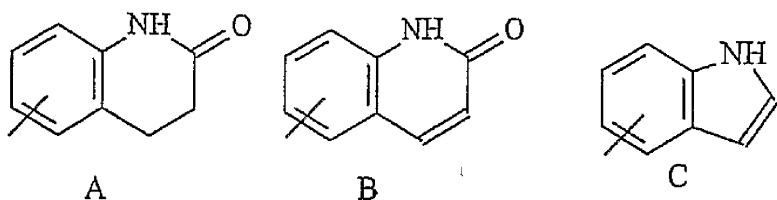
Tは、OH、OR、NHCOC₂H₅、又はNHCORであり、

Zは、NO₂、CN、COOH、COR、NHCOR、又はCONHRであり、

Yは、CF₃、I、Br、Cl、CN、CR₃、又はSnR₃であり、

Qは、アルキル、F、Cl、Br、I、CF₃、CN、CR₃、SnR₃、NR₂、NHCOCH₃、NHCOCF₃、NHCOR、NHCONHR、NHCOOR、OCONHR、CONHR、NHCSCH₃、NHCSCH₃、NHCS₂CF₃、NHCSR、NHSO₂CH₃、NHSO₂R、OR、COR、OCOR、OSO₂R、SO₂R、SR、NCS、SCN、NCO、又はOCNである。或いは、Qは、ベンゼン環と結合して構造式A、B、又はCで表される縮合環系を形成するものである。

【化8】



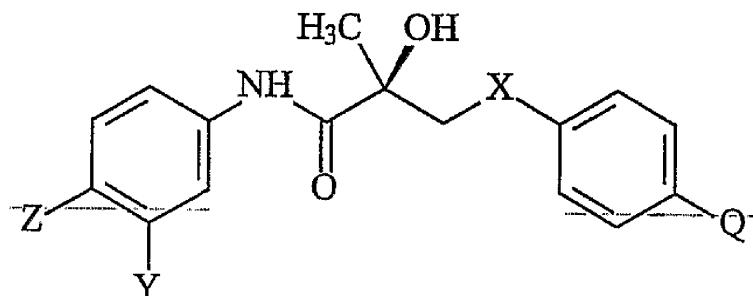
Rは、アルキル、ハロアルキル、ジハロアルキル、トリハロアルキル、CH₂F、CHF₂、CF₃、CF₂CF₃、アリル、フェニル、F、Cl、Br、I、アルケニル、又はOHであり、

R₁は、CH₃、CH₂F、CHF₂、CF₃、CH₂CH₃、又はCF₂CF₃である。

【請求項72】

前記SARM化合物が、次の化学構造式IIで表されることを特徴とする請求項69に記載の使用。

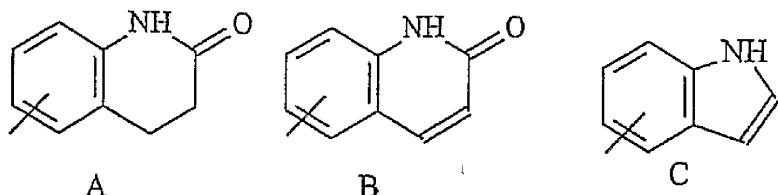
【化2】



II

ただし、Xは、結合部、O、CH₂、NH、Se、PR、NO、又はNRであり、Zは、NO₂、CN、COOH、COR、NHCOR、又はCONHRであり、Yは、CF₃、I、Br、Cl、CN、CR₃、又はSnR₃であり、Qは、アルキル、F、Cl、Br、I、CF₃、CN、CR₃、SnR₃、NR₂、NHCOCH₃、NHCOCF₃、NHCOR、NHCONHR、NHCOOR、OCONHR、CONHR、NHCSCH₃、NHCSCF₃、NHCSR、NHSO₂CH₃、NHSO₂R、OR、COR、OCOR、OSO₂R、SO₂R、SR、NCS、SCN、NCO、OCNである。或いは、Qは、ベンゼン環と結合して構造式A、B、又はCで表される縮合環系を形成するものである。

【化8】

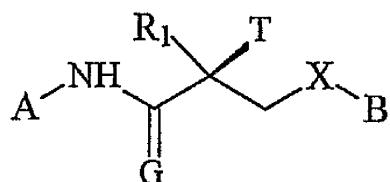


Rは、アルキル、ハロアルキル、ジハロアルキル、トリハロアルキル、CH₂F、CHF₂、CF₃、CF₂CF₃、アリル、フェニル、F、Cl、Br、I、アルケニル、又はOHである。

【請求項73】

前記SARM化合物が、次の化学構造式IIIで表されることを特徴とする請求項69に記載の使用。

【化3】



III

ただし、Xは、結合部、O、CH₂、NH、Se、PR、NO、又はNRであり、Gは、O、又はSであり、

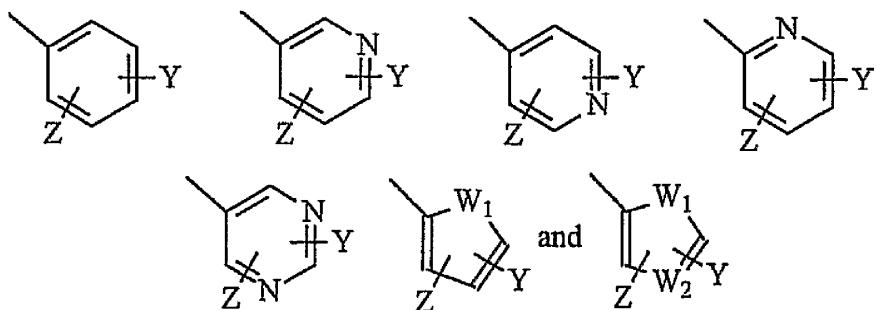
R_1 は、 CH_3 、 CH_2F 、 CHF_2 、 CF_3 、 CH_2CH_3 、又は CF_2CF_3 であり、

T は、 OH 、 OR 、 $NHCOCCH_3$ 、又は $NHCOR$ であり、

R は、アルキル、ハロアルキル、ジハロアルキル、トリハロアルキル、 CH_2F 、 CHF_2 、 CF_3 、 CF_2CF_3 、アリル、フェニル、 F 、 Cl 、 Br 、 I 、アルケニル、又は OH であり、

A は、

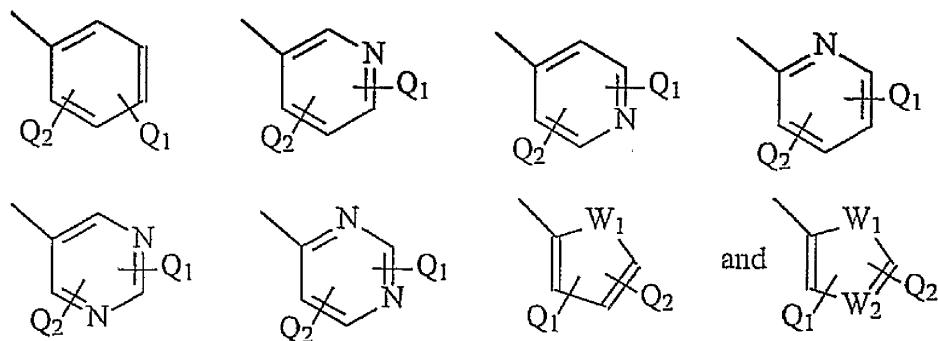
【化9】



から選択される環であり、

B は、

【化10】



から選択される環であり、

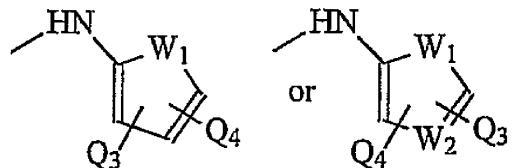
A 及び B は同時にベンゼン環であり得ず、

Z は、 NO_2 、 CN 、 $COOH$ 、 COR 、 $NHCOR$ 、又は $CONHR$ であり、

Y は、 CF_3 、 F 、 I 、 Br 、 Cl 、 CN 、 CR_3 、又は SnR_3 であり、

Q_1 及び Q_2 は、互いに独立して、水素、アルキル、 F 、 Cl 、 Br 、 I 、 CF_3 、 CN 、 CR_3 、 SnR_3 、 NR_2 、 $NHCOCCH_3$ 、 $NHCOCF_3$ 、 $NHCOR$ 、 NHC
 $ONHR$ 、 $NHCOOR$ 、 $OCONHR$ 、 $CONHR$ 、 $NHCSCH_3$ 、 $NHCSCF_3$ 、 $NHCSR$ 、 $NHSO_2CH_3$ 、 $NHSO_2R$ 、 OR 、 COR 、 $OCOR$ 、 OSO_2R 、 SO_2R 、 SR 、 NCS 、 SCN 、 NCO 、 OCN 、又は

【化11】



であり、

Q_3 及び Q_4 は、互いに独立して、水素、アルキル、 F 、 Cl 、 Br 、 I 、 CF_3 、 C

N、C₂H₃、SnR₃、NR₂、NHCOCH₃、NHCOCF₃、NHCOR、NHC
ONHR、NHCOOR、OCOONHR、CONHR、NHCSCH₃、NHCS
CF₃、NHCSR、NHSO₂CH₃、NHSO₂R、OR、COR、OCOR、OSO₂
R、SO₂R、SR、NCS、SCN、NCO、又はOCNであり、

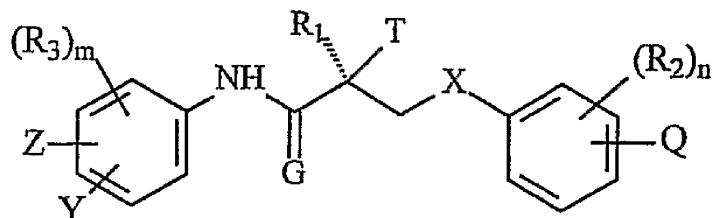
W₁は、O、NH、NR、NO、又はSであり、

W₂は、N、又はNOである。

【請求項 74】

前記SARM化合物が、次の化学構造式IVで表されることを特徴とする請求項69に記載の使用。

【化4】



IV

ただし、Xは、結合部、O、CH₂、NH、Se、PR、NO、又はNRであり、
Gは、O、又はSであり、

Tは、OH、OR、NHCOCH₃、又はNHCORであり、

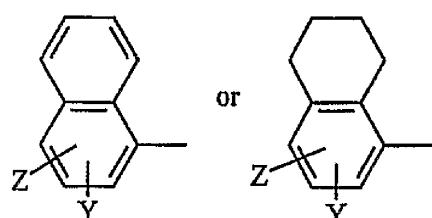
Rは、アルキル、ハロアルキル、ジハロアルキル、トリハロアルキル、CH₂F、CH
F₂、CF₃、CF₂CF₃、アリル、フェニル、F、Cl、Br、I、アルケニル、又
はOHであり、

R₁は、CH₃、CH₂F、CHF₂、CF₃、CH₂CH₃、又はCF₂CF₃であ
り、

R₂は、F、Cl、Br、I、CH₃、CF₃、OH、CN、NO₂、NHCOCH₃
、NHCOCF₃、NHCOR、アルキル、アリルアルキル、OR、NH₂、NHR、N
R₂、又はSRであり、

R₃は、F、Cl、Br、I、CN、NO₂、COR、COOH、CONHR、CF₃
、又はSnR₃である。或いは、R₃は、ベンゼン環と結合して次の構造式で表される縮
合環系を形成するものであり、

【化12】

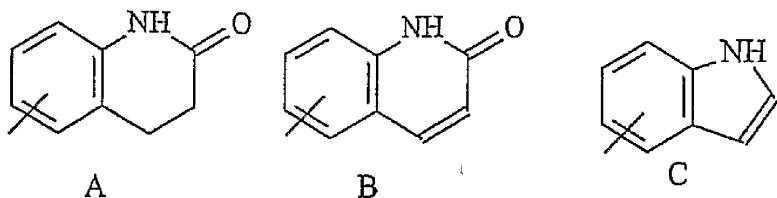


Zは、NO₂、CN、COR、COOH、又はCONHRであり、

Yは、CF₃、F、Br、Cl、I、CN、又はSnR₃であり、

Qは、H、アルキル、F、Cl、Br、I、CF₃、CN、CR₃、SnR₃、NR₂
、NHCOCH₃、NHCOCF₃、NHCOR、NHCONHR、NHCOOR、OC
ONHR、CONHR、NHCSCH₃、NHCS
CF₃、NHCSR、NHSO₂CH₃、NHSO₂R、OH、OR、COR、OCOR、OSO₂R、SO₂R、SR、NC
S、SCN、NCO、又はOCNである。或いは、Qは、ベンゼン環と結合して構造式A
、B、又はCで表される縮合環系を形成するものである。

【化8】

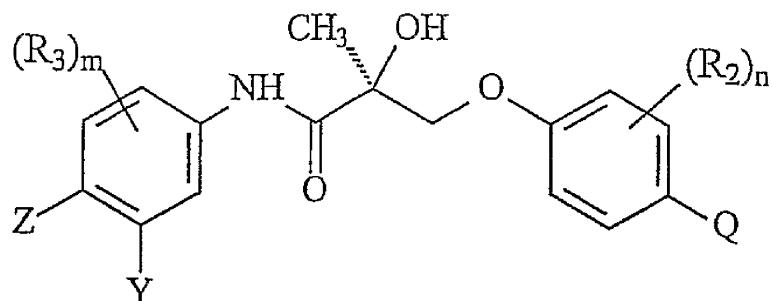


nは、1～4の整数であり、
mは、1～3の整数である。

【請求項75】

前記SARM化合物が、次の化学構造式Vで表されることを特徴とする請求項69に記載の使用。

【化5】

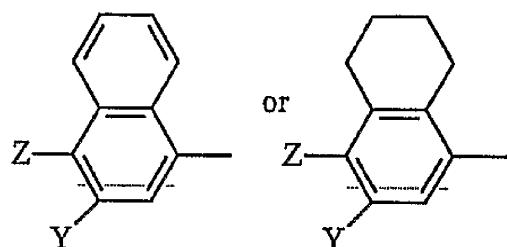


V

ただし、R₂は、F、Cl、Br、I、CH₃、CF₃、OH、CN、NO₂、NHCOC₂H₅、NHCOCF₃、NHCOR、アルキル、アリルアルキル、OR、NH₂、NHR、NR₂、又はSRであり、

R₃は、F、Cl、Br、I、CN、NO₂、COR、COOH、CONHR、CF₃、又はSnR₃である。或いは、R₃は、ベンゼン環と結合して次の構造式で表される縮合環系を形成するものである。

【化13】



Rは、アルキル、ハロアルキル、ジハロアルキル、トリハロアルキル、CH₂F、CHF₂、CF₃、CF₂CF₃、アリル、フェニル、F、Cl、Br、I、アルケニル、又はOHであり、

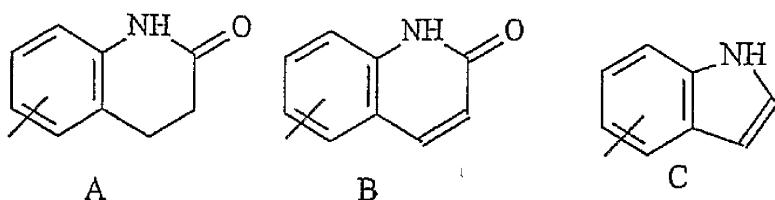
Zは、NO₂、CN、COR、COOH、又はCONHRであり、

Yは、CF₃、F、Br、Cl、I、CN、又はSnR₃であり、

Qは、H、アルキル、F、Cl、Br、I、CF₃、CN、CR₃、SnR₃、NR₂、NHCOC₂H₅、NHCOCF₃、NHCOR、NHCONHR、NHCOOR、OCONHR、CONHR、NHCSCH₃、NHCSCH₃、NHCSCH₃、NHCSR、NHSO₂CH₃、NHSO₂R、OH、OR、COR、OCOR、OSO₂R、SO₂R、SR、NC、SCN、NCO、又はOCNである。或いは、Qは、ベンゼン環と結合して構造式A

、B、又はCで表される縮合環系を形成するものである。

【化8】



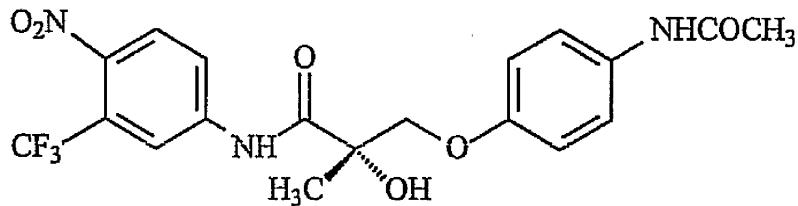
nは、1～4の整数であり、

mは、1～3の整数である。

【請求項76】

前記SARM化合物が、次の化学構造式VIで表されることを特徴とする請求項69に記載の使用。

【化6】

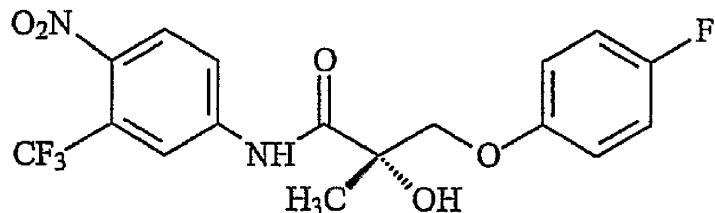


VI

【請求項77】

前記SARM化合物が、次の化学構造式VIIで表されることを特徴とする請求項69に記載の使用。

【化7】



VII

【請求項78】

前記SARMが、アンドロゲン受容体アゴニストであることを特徴とする請求項69に記載の使用。

【請求項79】

前記SARMが、アンドロゲン受容体アンタゴニストであることを特徴とする請求項69に記載の使用。

【請求項80】

前記SARMが、筋肉又は骨にアゴニストの効果を及ぼすことを特徴とする請求項69

に記載の使用。

【請求項 8 1】

前記 S A R M が、前立腺に効果を及ぼさない、又はアンタゴニストの効果を及ぼすことを特徴とする請求項 8 0 に記載の使用。

【請求項 8 2】

前記 S A R M が、筋肉又は骨に効果を及ぼさないことを特徴とする請求項 6 9 に記載の使用。

【請求項 8 3】

前記 S A R M が、前立腺に効果を及ぼさない、又はアンタゴニストの効果を及ぼすことを特徴とする請求項 8 2 に記載の使用。

【請求項 8 4】

前記 S A R M が、前立腺に効果を及ぼさない、又はアンタゴニストの効果を及ぼすことを特徴とする請求項 6 9 に記載の使用。

【請求項 8 5】

前記 S A R M が、中枢神経系に浸透することを特徴とする請求項 6 9 に記載の使用。

【請求項 8 6】

前記 S A R M が、中枢神経系に浸透しないことを特徴とする請求項 6 9 に記載の使用。

【請求項 8 7】

前記薬剤が、前記 S A R M 、及び / 又はその類似体、誘導体、異性体、代謝産物、薬学的に許容される塩、医薬品、水和物、N 酸化物、プロドラッグ、多形体、結晶或いはそれらの任意の組み合わせと、薬学的に許容される担体とを含むことを特徴とする請求項 6 9 に記載の使用。

【請求項 8 8】

前記薬剤が、

静脈内注射、動脈内注射、又は筋肉内注射可能な液体か、

皮下埋め込み可能なペレットか、

経口投与可能な液体又は固体か、又は、

皮膚の表面に塗布可能な液体又は固体であることを特徴とする請求項 8 7 に記載の使用。

【請求項 8 9】

前記薬剤が、ペレット、錠剤、カプセル、溶液、懸濁液、乳濁液、エリキシル、ゲル、クリーム、坐薬、又は非経口的製剤であることを特徴とする請求項 8 7 に記載の使用。

【請求項 9 0】

男性患者の性的不全、性欲減退、勃起不全、性腺機能低下症、筋肉減少症、骨減少症、骨粗鬆症、認知・気分の変化、うつ病、貧血、脱毛症、肥満症、良性前立腺肥大症、及び前立腺癌から選択される高齢男性のアンドロゲン減少 (A D A M) 関連症状の予防、抑制、阻害、又はその発生率の低減方法であって、

ヒト以外の患者に選択的アンドロゲン受容体調節剤 (S A R M) 化合物を投与する過程を含むことを特徴とする使用。